

1. (1) 2      (2)  $y = \frac{1}{2}x^2$

(3)  $y = \frac{1}{2}x^2 - 8x + 32$

2. (1)  $\frac{1}{4}x^2$

(2)  $-\frac{3}{4}x^2 + 12x - 36$

(3)  $2\sqrt{6}, 8+2\sqrt{2}$

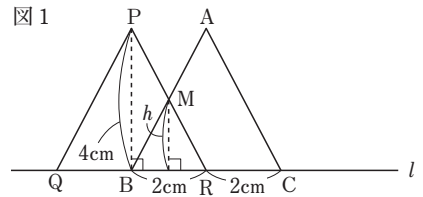
3. (1)  $s = \frac{1}{4}t^2$       (2)  $s = t - 1$

(3)  $s = -\frac{1}{4}t^2 + t + 3$

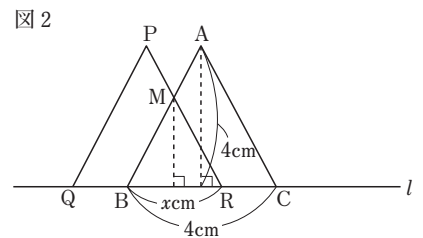
(4)  $\frac{11}{4}, 5$



1. (1)  $x=2$  のとき、点 R は  $1 \times 2 = 2$  より、2cm 動いている。  
 よって、 $\triangle PQR$  は図 1 のように、点 R が辺 BC の中点の位置にある。辺 PR と辺 AB との交点を M とすると、 $\angle ACB = \angle PRQ$  より  $AC \parallel PR$  となるから、 $\triangle MBR \sim \triangle ABC$  で、相似比は、 $BR : BC = 2 : 4 = 1 : 2$  これより、 $\triangle MBR$  の高さを  $h$ cm とすると、 $\triangle ABC$  の高さが 4cm であることから、 $h : 4 = 1 : 2$  より、 $h = 2$  したがって、 $\triangle MBR$  の面積は、 $\frac{1}{2} \times 2 \times 2 = 2$  (cm<sup>2</sup>) となり、 $x = 2$  のとき、 $y = 2$

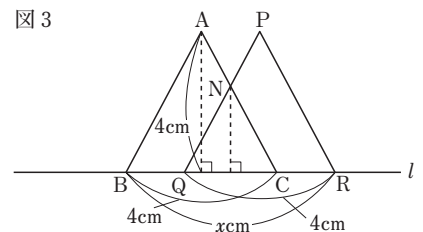


(2)  $0 \leq x \leq 4$  のとき、 $\triangle PQR$  は  $\triangle ABC$  と図 2 のような位置で重なっており、 $\triangle MBR \sim \triangle ABC$  となる。 $\triangle ABC$  は、底辺が 4cm、高さが 4cm であることから、底辺と高さが等しい二等辺三角形なので、 $\triangle MBR$  も底辺 BR と高さが等しい二等辺三角形である。よって、重なった部分  $\triangle MBR$  の面積  $y$  は、 $BR = x$  より、 $y = \frac{1}{2}$



$\times x \times x = \frac{1}{2}x^2$

(3)  $4 \leq x \leq 8$  のとき、 $\triangle PQR$  は  $\triangle ABC$  と図 3 のような位置で重なっており、辺 AC と辺 PQ との交点を N とすると、 $\triangle NQC$  も底辺 QC と高さが等しい二等辺三角形である。よって、 $QC = BC - BQ = 4 - (x - 4) = 8 - x$  より、 $y = \frac{1}{2} \times (8 - x) \times (8 - x) = \frac{1}{2}x^2 - 8x + 32$



2. (1) 図 1 のように、2 点 M, N を定める。T' は直角二等辺三角形だから、 $\angle MA'N = 45^\circ$  これと  $\angle MNA' = 90^\circ$  より、 $\triangle MAN$  は直角二等辺三角形だから、 $MN = NA'$  同様に  $\triangle MAN$  において、 $MN = NA$  より、 $MN = NA'$

$$=NA=\frac{1}{2}AA'=\frac{1}{2}x \text{ よって, } \triangle MA'A=\frac{1}{2}\times x\times\frac{1}{2}x=\frac{1}{4}x^2$$

(2) 図2のように、2点P、P'を定め、〔五角形MP'BB'P〕=△MA'A-△P'A'B-△PAB'と考える。△P'A'Bは直角二等辺三角形より、BA'=P'B=x-6 よって、△P'A'B= $\frac{1}{2}\times(x-6)\times(x-6)=\frac{1}{2}(x-6)^2$  また、△PAB'≡△P'A'Bであり、(1)より、

$$\triangle MA'A=\frac{1}{4}x^2 \text{ だから, } [\text{五角形MP'BB'P}]=\frac{1}{4}x^2-\frac{1}{2}(x-6)^2\times 2$$

$$=-\frac{3}{4}x^2+12x-36$$

(3) (1)より、 $0\leq x\leq 6$  のとき、TとT'が重なる部分の面積が6となるのは、 $\frac{1}{4}x^2=6$ 、 $x=\pm 2\sqrt{6}$  より、 $x=2\sqrt{6}$  また、

(2)より、 $6\leq x\leq 12$  のとき、TとT'が重なる部分の面積が6となるのは、 $-\frac{3}{4}x^2+12x-36=6$ 、 $x=8\pm 2\sqrt{2}$  より、 $x=8+2\sqrt{2}$  よって、求めるxの値は、 $2\sqrt{6}$  と  $8+2\sqrt{2}$

3. (1) 正方形KLMNは毎秒1の速さで移動するから、t秒後、AM=OL=1×t=tとなる。0≤t≤2のとき、0≤AM≤2だから、図1のように、辺ACとMNの交点をPとすると、正方形KLMNと△ABCの重なった部分は直角三角形AMPになる。直線ACの傾きは、 $\frac{BC}{AB}=\frac{2}{6-2}=\frac{1}{2}$  だから、 $PM=\frac{1}{2}AM=\frac{1}{2}t$ と表される。

$$\text{よって, } s=\frac{1}{2}\times t\times\frac{1}{2}t=\frac{1}{4}t^2$$

(2) (1)と同様に、AM=OL=tであり、2≤t≤4のとき、2≤OL≤4だから、図2のように、辺ACとKLの交点をQとすると、重なった部分は台形QLMPになる。直線ACの傾きが $\frac{1}{2}$ より、

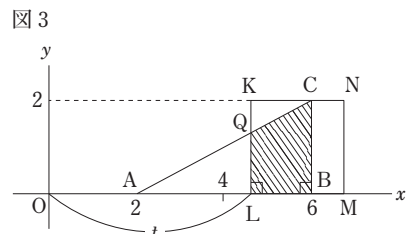
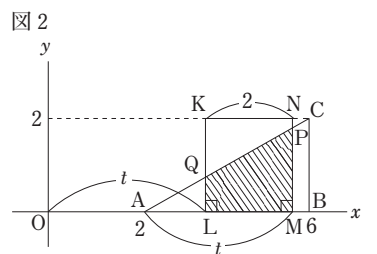
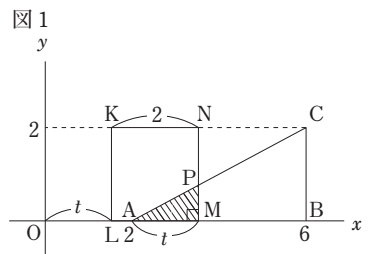
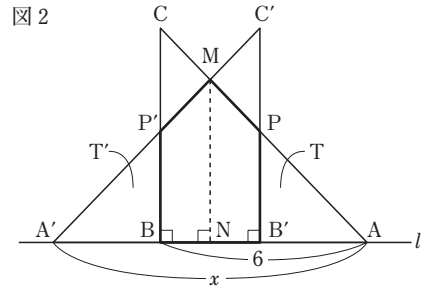
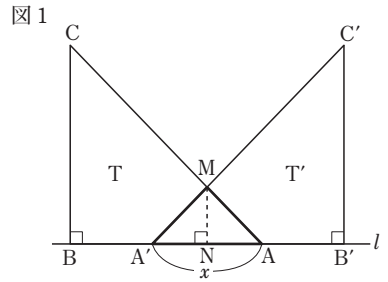
$$QL=\frac{1}{2}AL=\frac{1}{2}(t-2), PM=\frac{1}{2}AM=\frac{1}{2}t \text{ と表される。よって,}$$

$$s=\frac{1}{2}\times\left\{\frac{1}{2}(t-2)+\frac{1}{2}t\right\}\times 2=t-1$$

(3) (1)と同様に、OL=tであり、4≤t≤6のとき、4≤OL≤6だから、図3のように、重なった部分は台形QLBCになる。

$$LB=6-t, \text{ 直線ACの傾きが } \frac{1}{2} \text{ より, } QL=\frac{1}{2}AL=\frac{1}{2}(t-2)$$

$$\text{と表される。よって, } s=\frac{1}{2}\times\left\{\frac{1}{2}(t-2)+2\right\}\times(6-t)=-\frac{1}{4}t^2+t+3$$



(4) (1)より,  $s = \frac{1}{4}t^2$  に  $s = \frac{7}{4}$  を代入すると,  $\frac{7}{4} = \frac{1}{4}t^2$  より,  $t = \pm\sqrt{7}$  これは  $0 \leq t \leq 2$  を満たさないので適さない。(2)より,  $\frac{7}{4} = t - 1 \quad \therefore t = \frac{11}{4}$  これは  $2 \leq t \leq 4$  を満たすので適する。(3)より,  $\frac{7}{4} = -\frac{1}{4}t^2 + t + 3$ ,  
 $(t+1)(t-5) = 0 \quad \therefore t = -1, 5$   $4 \leq t \leq 6$  より,  $t = 5$  以上より,  $t = \frac{11}{4}, 5$